第18講 ● 高地・低地のくらし(長野県新潟県)

1 高地の人たちのくらし

(1) 長野県野辺山原…［A　　　　］川の上流

① 土地…火山灰の土地でやせている。

標高1300m以上なので夏でもすずしい。

② 60年以上前…あれ地だった。

現在…畑が広がっている。

③ 農作物

昔：だいこん・じゃがいも・そばなど

今：［B　　　　］野菜…キャベツ・レタス・はくさいなど

④ ［C　　　　］…同じ土地で同じ作物を続けて栽培すると作物の育ちがだんだん悪くなること。

2 野辺山原の野菜づくり

(1) 高原野菜

・すずしい気候を利用して他の地域ではつくられない夏に栽培し高値で売る。

・白［A　　　　］とよばれるシートを土にかぶせると病気を防いで，雑草をおさえてくれる。

A

…保温(ほおん)効果のあるポリエチレンでつくられたシート。

(2) 野菜づくりがさかんになった理由

最近では高速道路の整備(せいび)が整い，また低温で運べるトラックができたので各地に新鮮(しんせん)な野菜を出荷できるようになったから。

3　低地の人たちのくらし

(1) 新潟県新潟市南区白根(しろね)…信濃(しなの)川の河口(かこう)

① [A] 平野…信濃川の河口に広がる平野。

② [B] の被害…土地が低く，水はけが悪いため。

③ [C] …洪水(こうずい)の時に備(そな)えた倉(くら)。

(濃尾(のうび)平野では水屋(みずや)とよぶ。)

④ [D] 分水路…川が増水(ぞうすい)した時に開放して洪水を防ぐ。

⑤ あんきょ排水(はいすい)…地中に土管を通して土の中の水分を調節(ちょうせつ)する。

4　白根の果物づくり

(1)　土地を生かした農産物

①　[A]がさかん…越後平野は[B]の生産がさかん。

②　もも・ぶどうの栽培…信濃川が運ぶ豊かな水や土と，梅雨（つゆ）でも日が多く照る条件（じょうけん）を生かしている。

※もも・ぶどう…山梨県[C]盆地（ぼんち）で生産がさかん。

もも…8月に収穫（しゅうかく）。

ぶどう…8月後半から9月前半に収穫。

なし…9月から10月前半に収穫。

〈 Note 〉

第18講 • 確認テスト

(1)　野辺山原は何県ですか。

ア　新潟県　　イ　栃木県　　ウ　埼玉県　　エ　長野県

(2)　野辺山原は何川の上流に広がっていますか。

ア　信濃(しなの)川　　イ　利根(とね)川　　ウ　淀(よど)川　　エ　太田(おおた)川

(3)　高原野菜としてあてはまらないものはどれですか。

ア　キャベツ　　イ　はくさい　　ウ　レタス　　エ　ピーマン

(4)　同じ土地で同じ作物を続けて栽培すると作物の育ちが悪くなることを○○○○障害といいます。○○○○にあてはまる言葉は何ですか。

ア　りんさく　　イ　れんさく
ウ　らんかく　　エ　かんかく

(5)　保温効果のあるポリエチレン製のシートを何といいますか。

ア　マルチ　　イ　ベルチ　　ウ　デルタ　　エ　マルタ

(6)　すずしい気候を利用して，夏に他の地域で栽培できない野菜をつくることを何といいますか。

ア　促成（そくせい）栽培　　イ　抑制（よくせい）栽培
ウ　露地（ろじ）栽培　　エ　自然栽培

(7)　信濃川の河口に広がっている平野は何平野ですか。

ア　越後平野　　イ　濃尾平野
ウ　庄内平野　　エ　岡崎平野

(8)　新潟県の白根でよく起きていた自然災害は何ですか。

ア　洪水　　イ　高潮　　ウ　竜巻（たつまき）　　エ　津波（つなみ）

(9)　新潟県の白根では洪水の時にひなんするため，高い場所に何をつくっていましたか。

ア　水倉（みずくら）　　イ　母屋（おもや）　　ウ　地下倉庫　　エ　排水路

(10)　山梨県に広がる盆地を何といいますか。

ア　松本（まつもと）盆地　　イ　諏訪（すわ）盆地
ウ　甲府（こうふ）盆地　　エ　新庄（しんじょう）盆地

第18講 • 確認テスト

解答

(1)	エ	(2)	ア	(3)	エ	(4)	イ	(5)	ア
(6)	イ	(7)	ア	(8)	ア	(9)	ア	(10)	ウ

〈 Note 〉